

R7地域こん談会まとめ

案件番号	自治体名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	千歳町	○府道亀岡園部線の延伸について 府道亀岡園部線未整備区間(小口工区から平の沢池まで)について、整備の方向性を確立してほしいです。 京都府は、整備に消極的な面も見受けられ、地元としては不安を感じています。 未整備区間について市道として整備後、現府道との所管替えも含め、京都府との調整をしていただき、一日も早く平の沢池までが一本の道路として開通できるようご尽力をよろしくお願いたします。	府道亀岡園部線は、亀岡市と南丹市を結ぶ桂川左岸地域の骨格をなす幹線道路であり、地域の振興に寄与する道路だけでなく、災害時における第二次緊急輸送道路にも指定されています。 小口地域未整備区間につきましては、千歳北工区の供用開始後、その整備の必要性が益々高まっているものと認識しており、本市としましては、川東地区全体の道路ネットワークや、京都府道と亀岡市道の道路ネットワークの役割分担からも、平の沢池までの延伸は不可欠であると考えております。 また、沿線自治会で構成する「亀岡園部線整備促進協議会」からも当該区間の早期事業化を要望されていますので、本市としても事業化に向けて京都府との協議を重ねてまいりたいと考えております。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
	千歳町	【質問等】 除草・景観の維持等、道路の管理をしている地元の負担も大きく、長年の懸案事項となっています。少しでも行政の協力を得られればと思います。 また、当該区間の早期完成に向けて役に立てたい思いで、当該区間周辺の土地をサングラの練習場の候補地として応募したが、選考で漏れしまいました。このように小口区民は協力していきたい思いを持っており、早期に整備できるようお願いたします。	亀岡市としては、現在の農道を市道に格上げし、小口工区から平の沢池までは、府道の規格を備えた上で、市道として整備し、その後、京都府に移管するのが最もスムーズではないかと考えます。 どこに道を通すのか、先線を決めていく必要があるため、地元である小口区を含めて千歳町とも協議の上、ご協力いただきながら進めていきたいと思っております。	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
2	千歳町	小口区内にあるため池(新池)については、以前から漏水しているところがありましたが、昨年10月下旬に堤体下部の石積の一部が崩れました。 新池下流には、数件の民家があり、堤体の大規模な崩壊の危険を感じている状況です。池の排水口が機能しておらず、水位が上昇した場合には、サイフォン装置により排水処理をしている状況ですが、大雨により一気に水位が上昇した時には、大きなリスクとなります。 地元としては、今後とも灌漑用としての必要性が低いことから、廃池を希望しており、川東土地改良区を通じて亀岡市にその手続きを進めていただくようお願いしているところです。今後とも廃池に向けた手続きなどについてご配慮をお願いします。	新池につきましては、令和6年10月に被災し、自治会をはじめ川東土地改良区及び農家組合と市とで現地立会をし、新池左岸側下流法面の壁石積が崩れている状況です。 新池はため池栓を開けても水が抜けない状況でもあることから、池関係者の方が南丹広域振興局からエンジンポンプを借りて対応され、その後、サイフォンによる排水を地元で対応いただいているところです。 今後の新池の対応につきましては、現在の利用実態から改修するのか廃池か、地元として検討していただき、地元として廃池をする方向で決定されました。 新池は、防災重点農業用ため池になっていることから廃池に向け「農業水路等長寿命化・防災減災事業」の補助事業として対応していきたいと思っております。実施にあたっては事業制度や条件等がありますので、川東土地改良区を通じて、ため池関係者の方へ説明したいと考えています。事業着手には時間を要しますので、それまでの管理については引き続き地元対応くださるよう、よろしくお願いたします。	産業観光部長	③検討	補助事業に伴う事業制度や条件等の検討に時間を要しておりますが、川東土地改良区及びため池関係者へは早期に説明をしていきたいと考えておりますのでよろしくお願致します。
	千歳町	【質問等】 廃池に向けた補助事業の目処はいつになりますか。	令和9年度で国へ要望をあげていきたいと考えています。 現在も京都府を通じて調整を行っているところであり、それらの詳細については、担当課から説明をさせていただきます。	産業観光部長	③検討	
3	千歳町	七福神道の整備について 現在、平野美濃田線(小口区内)及び横井線(江島里区内)について整備を進めていただいております、引き続きよろしくお願いいたします。 また、金光寺(中区)と耕雲寺(北谷区)を結ぶ谷合のルートについても、整備の検討をお願いいたします。 このルートが整備されることにより、七福神めぐりの時間短縮が可能となり、利用者の安全性と利便性が格段に向上します。 その他のルートについても引き続き検討をお願いいたします。	市道美濃田平野線の道路拡幅事業については、府道亀岡園部線の接道部から小口区集落内までの約420mについて事業を進めており、府道亀岡園部線から約100m区間の整備が完了しております。 また、令和4年度に中ノ谷川の橋梁設計を実施し、令和5年度、6年度は、整備完了箇所から中ノ谷川の区間において順次用地協議及び電柱移設に伴う関係者協議を実施しております。今年度につきましては協議済2件の用地を取得するとともに、中ノ谷川周辺の用地協議を順次進めてまいりたいと考えております。 今年度の工事につきましては、整備完了箇所から中ノ谷川に向けて約60mを予定しており、工事中は通行止めなどの通行規制でご不便をお掛けしますが、御理解と御協力をお願いいたします。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			金光寺から耕雲寺までの区間における中区内の道路整備につきましては、令和3年度に現地立会をさせていただいたところ、整備予定区間は谷筋の急傾斜地が多く、整備ルートを再検討する必要があることから、まずは、現在千歳町町内で実施しております市道美濃田平野線及び市道横井線を鋭意進めていき、その後、中区の道路整備に着手したいと考えております。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

4	千歳町	<p>七谷川野外活動センターの来場者数は、ほぼコロナ禍前までに回復し、今年のゴールデンウィークにおいてもファミリー層を中心に連日賑わっていました。今後とも、多くの人に自然の中で安全でゆっくり野外活動を楽しんでもらえる施設運営に努めていきたいと考えている一方で、施設の老朽化による施設の改修工事などの必要性が高まっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駐車場の増設 ○アスレチックの安全対策・レストハウス壁の塗装 ○管理棟及び野外炊飯場の屋根改修 ○トイレの改修 <p>など、上記の計画的な改修工事が必要となっています。</p>	<p>七谷川野外活動センターは、社会教育施設として「自然の中で心身とも健全な青少年の育成及び市民の交流の推進を図る」ことを設置目的としており、広く野外活動体験の場として利用されてまいりました。また最近ではキャンプブームや、サンガスタジアム by KYOCERAでの試合観戦とキャンプをセットで楽しんでいたいただいている方もいらっしゃるなど、市内外の方に様々な形でご利用いただいていると報告を受けているところでございます。</p> <p>千歳町自治会の皆様には、指定管理者として、利用者の皆様が安全に安心して過ごせるよう配慮しつつ、適正な管理・運営に努めていただいていることに感謝します。</p> <p>アスレチックの安全対策や施設の壁の塗装、屋根の補修等については、利用者のニーズを把握し、優先順位を考えたうえで、また施設全体の計画的な修繕とあわせて、今後もう少し研究しながら考えていきたいと思います。</p> <p>傷んだ施設を修理していくこととなると、なかなか財源がないというのが現状で、ソフト事業と組み合わせることによって、財源確保につながらないかと考えているところです。また、指定管理者という立場からも千歳町自治会の皆様とも一緒に考えていければと思いますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。</p>	教育部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>アスレチックの件ですが、以前、寄付をいただける企業があるという話をいただき、予算化しましたが、その後、当該企業の事情が変わり、結果、寄付をいただくことができず、実施ができておりません。宝くじのコミュニティ助成事業というのがありますので、今年度もしくは来年度に向けて、少し予算が付けば、整備ができるのではないかと思っていますので、申請をすることも考えていきたいと思います。採択されるかどうかは分からないが、そのような取り組みをしていながら予算確保に努めていきたいと思います。</p>	市長 (教育部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
		<p>【質問等】 駐車場の増設についてですが、正式に駐車できるスペースは10台分しかないという現状です。現在、市道横井線を整備しているが、その近辺に駐車場増設の整備はできないでしょうか。</p>	<p>野外活動センターの対岸のほう(千山荘の手前)の土地を地権者の方から市に買ってほしいという話がかきており、まだ検討中で結論は出ていないが、そうなれば、当該土地を市として公園指定を行い、時間はかかると思うが、駐車場として活用できる可能性もあると考えています。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
5	千歳町	<p>七谷川の桜並木の保全について</p> <p>七谷川周辺の桜並木は、亀岡市を代表する観光地となり、今年も多く観光客が訪れた一方、七谷川下流の右岸側などは老木が多く、枯れ木が目立ってきています。大切な亀岡市の財産を末永く保存していくため、引き続き枯れ木の剪定や計画的な桜木の植え替えをお願いしたいです。また、昆虫のクビアカツヤカミキリによる被害についても引き続き監視をお願いしたいです。地元としても、堤防の草刈りや清掃活動など継続していきたいと思います。</p>	<p>亀岡市においては市内に約57,000本の街路樹を抱え、市だけの管理では限界のある中で、七谷川の桜については地元の皆様にも樹木の点検や下草刈りなど色々ご協力をいただく中で、良好な状態が維持できているものであり改めて感謝申し上げます。</p> <p>特に七谷川右岸の桜については昨年剪定を実施しましたが、いずれの樹木も老木となっており、状況を見ながら植え替えの実施など、適切に対処してまいりたいと考えております。</p> <p>また、クビアカツヤカミキリについては、昨年度、地元で一斉点検をお世話になりました。今年度も京都府等からの情報を注視すると共に、毎年桜の開花前に点検を行ってまいりたいと考えております。</p>	まちづくり推進部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>どうしても枯れる樹木は出てくると思うので、定期的に補植をしていく必要があると思っています。管理上、気づいたことがあれば言っていたらいいと思います。植える時期としては2月前後の冬の間になると思いますが、補植をして、将来につなげていくことができればと思います。そのあたりは市で予算化して取り組んでいきたいと思います。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

6	千歳町	<p>防災の備えについて 近年、大災害に備えた対策の必要性が高まっており、昨年千歳町においては、災害発生に備え、全戸に災害用飲料水を配布しました。 災害が発生すると、自治会館を身近な避難所として開設することになり、行政の支援が届くまでの間は、自主的な避難生活が始まり、防災資材や食料など物資が必要となります。そのため、次のようなことが必要と考えます。</p> <p>○避難所(自治会館など)停電時における電源の確保(自治会館配線に自家発電機を繋げる配電設備) ○市からの水、食料、トイレ用品などの備蓄品の増量、防災資機材購入補助枠の拡大及び補助金増額</p>	<p>大規模災害時の停電に備えた避難所の電源確保は重要な課題であると認識しております。亀岡市では、発災直後の避難所誘導のため、平成30年度に自主防災会に投光器と発電機を配備しているところです。</p> <p>非常時に備え、自治会館の電気設備を改修することは有効であると考えております。自治会館の改修で最大200万円、区で改修の場合は最大50万円の補助がある「生涯学習施設整備事業補助金」や、ふるさと納税の自治会版である「ふるさと亀岡自治会活動応援交付金」もありますので、活用いただければと思います。市のほうで電源の確保(自治会館の配線に自家発電機を繋げる配電設備)は、なかなか難しいですが、このように補助金を活用していただければと思います。</p> <p>次に、備蓄についてですが、京都府の「公的備蓄等に係る基本的な考え方」に基づき、亀岡市で配備方針を定めて備蓄を行っています。この度、食料の備蓄が「1日分」から「3食」に増加する等の見直しがあり、今後、亀岡市においても計画の見直しを実施してまいります。</p> <p>個人の備蓄で補助がないということについては、例えば個人で水を3日分、できれば7日分の備蓄をしていただいて、ローリングストック(普段から少し多めに買い置きし古い物から順に消費していく)という方法等も取り入れ、自らの備えというのをお願いしたいと思います。</p> <p>また、自主防災会の防災資機材購入補助枠の拡大や補助金の増額については、優良な財源の確保に努めるとともに、他の自治会の意見も参考にしながら検討してまいりたいと考えます。</p>	総務部長	②実施予定	備蓄品については、京都府の「公的備蓄等に係る基本的な考え方」の見直し及び地震被害想定の見直しを踏まえて、今年度中に5箇年の備蓄計画を策定します。新たな備蓄基準では、食料の備蓄が1日分を「2食」から「3食」、備蓄量は1日分から3日分となり、より充実した備蓄品の整備を推進していきます。
			自治会館の電源の確保についてですが、発電量にもよるとは思いますが、できるかどうか、どういったものがよいかなど、調べたいと思います。	市長 (総務部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
その他意見等	千歳町	<p>このところ、サルの出没が急に増えてきた。数十頭もいると思われる、農作物に大きな被害が及んでおり深刻な状況です。千歳町では、煙火講習会(動物駆逐用煙火を用いたサルの追い払い)についての講習会を受けた9人が、市から配備された動物駆逐用煙火を使用し、出没したサルを追い払っている状況だが、追い払ってもまた別の集落に現れるという状況であります。</p> <p>1人6本までは市から配備されるが、それ以上となると1本300円を負担する必要があります。その煙火の配備の拡大や檻の設置、またそれだけではなく根本的な手立てはないでしょうか。</p>	<p>サルの出没は、市内では去年から保津町が多く、篠町王子では常に出ていると聞いています。捕獲数は、これまでは年に5頭ほどだったのが、昨年は9頭と増えています。サルの出没に関していろいろな対策の事例を調べているが、農地等に出没した際には集落で追い払いをするのが主な対策とのこと、亀岡市ではサルを追い払う動物駆逐用の煙火をお渡しさせていただいています。</p> <p>まず発見したら1本、逃げているところに1本、最後に山で1本という具合で3本使っていただく。年度内で1人6本を無料でお渡ししているが、それ以上となると1/2補助(1本600円のところを300円補助)によりお渡ししています。</p> <p>使用いただける方は千歳町では現在9名おられますが、使用していただくために年に1回煙火講習会を受けていただくこととなっています。受講代やテキスト代は市が負担し、受講者の方には無料で受けられるようになっています。手帳発行費用の2,700円は負担していただくこととなります。</p> <p>保津町が対策を強化されたので、千歳町にきたのかも知れないが、そうすると次は旭町に行くのかは分からないが、サルに怖いと印象付けさせて、ここで食い止めていければと思っていますので、地域ぐるみでの対策をお願いしたいと思います。捕獲する檻についても考えていきたいと思います。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

	千歳町	檻は頼んだら用意いただけますか。	確認しておきます。他の場所でも設置しており、設置できるかどうか調整するなかで対応していきたいと考えます。	産業観光部長	①実施	捕獲檻を5基設置させていただいたところ、サル被害が収まったと伺っています。
	千歳町	サルについては、農作物が被害を受け、収入に直結してきます。たしかに追い払いは大事だが、捕獲も含めた両輪で進めていかないといけないです。 サルに関わらず、イノシシやシカの被害も多発しています。うちの集落は山際にワイヤーメッシュを設置し田畑のほうに有害鳥獣が入ってこないような対策はしているが、100%防止できていません。猟友会も捕獲を頑張っていたらいいと思うが、さらなる対策をお願いしたいです。 南丹市では発信器をつけて、来たらすぐに追い払えるように対策をしています。亀岡市でも、それも含めて対策をお願いしたいです。	農林振興課で検討いたします。	産業観光部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
その他意見等	千歳町	車塚の管理委託に関して、千歳町出雲区で管理を行っているが、高齢化に伴い、70歳代、80歳代の方がほとんどで、草刈りの人数を確保するのが難しくなっています。市から委託費として114,000円をいただいているが、今すぐとは言わないが、今後、業者委託ができるのであれば検討いただきたいです。 また、車塚古墳周辺の私有地となっているところが、雑草が繁茂し、車塚古墳の景観を損なう事態となっています。将来的に市に土地を買い取ってもらおうと考えておられる方がおり、現在は耕作放棄地となり、雑草で荒れ放題となっているため、早急に車塚古墳周辺の用地を買い上げて、周辺整備をしていただきたいです。	車塚古墳周辺の荒地については、現地確認をし対策を考えていきたいと思えます。 草刈りの業者委託の件については、面積にもよるため、その費用(114,000円)で委託できるか等を検討する中で、どのような対応ができるのか考えていきたいと思えます。	市長 (生涯学習部 文化芸術担当部長)	③検討	車塚古墳周辺は現地確認をし、状況を把握させていただいております。厳しい財政状況も踏まえる中で、業者委託の手法も含めて適切な管理方法について地元の皆様とご相談させていただきたいと考えております。